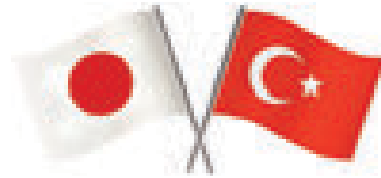


最初の発明の帝国の首都

ハッタサ (Hattusa)





Koordinatör

Turan SOĞUKOLUK

Editör

Serap GÜMÜŞOĞLU
Turan SOĞUKOLUK

Bilgi ve Fotoğraflar

Çorum İl Kültür ve Turizm Müdürlüğü Arşivi
Boğazkale Kaymakamlığı Arşivi
Çorum Müzesi Arşivi
İsmail DÖLARSLAN
Şahin ŞEKER

Grafik Tasarım

Pegasus Görsel İletişim Hizmetleri • 0 364 213 63 00 • ÇORUM

Kapak Tasarımı

Serap GÜMÜŞOĞLU

Baskı

Dumat Ofset / ANKARA
Bahçekapı Mah. 2477 Sokak No:6 Şaşmaz - Etimesgut / ANKARA

Tercüme

Akdil Tercüme Dış Tic. Müşavirlik Kirtasiye İnş. San. ve Tic. Ltd. Şti. Tel: 0 312 425 38 46 / ANKARA

ISBN 978-605-149-920-8

2017 / HATTUŞA / BOĞAZKALE

Hattuşanın tanıtımı için hazırlanan bu kitap para ile satılmaz. Bu kitapta yer alan fotoğrafların yayın ve kullanım hakkı fotoğraf sanatçılarına ve kurumlara aittir. Hiç bir şekilde kısmen veya tamamen kopyalanamaz, çoğaltılamaz, ticari amaç için kullanılamaz.

まえがき

誕生と文明のあらゆる段階を目の当たりにしたアナトリア地方は、ガリシア、ローマ、ビザンチン、セルジुक、オットマンなどの国境にある多くの古代から根づいた文明をヒッタイトと共に集めました。

約4000年前に最初に設立された国家との統一を確保した後、帝国となったアナトリアと歴史の最初の州であるヒッタイト州。考古学的発掘の結果として抽出された作品で世界文明と人間の記憶の歴史を明らかにした謎を残しながら、岩の崖に建てられた壮大な首都ハッタサ。すなわち、ヒッタイト自身の表現では、千神との街。

文明を認知し、促進することは、平和と兄弟派が支配するこれらの土地の近代的所有者として私たちの最も重要な義務です。



国家の最初の議定書規則を構成するマネジメントシステムでは、女性は政権の中で言葉を持っており、王のそばの諮問委員会を持っている。同性愛者および奴隷のための民法に関する規制を含む法的制度、および最初の補償慣行。軍の秩序と最初の軍事格付けシステム。岩の救済と神話の神々を持つ寺院は、彼らの信念を反映しています。フェスの日;楔形文字と粘土の錠剤に描かれた象形文字。ユニークな石とアドービー建築、素晴らしいトンネル、神秘的なピラミッドのユニークな建築物、ヒッタイト帝国は歴史の第一帝国であり、この豊かなヒッタイト文明の継承者として、それはこの帝国の指標であり、私たちはこの文明とその秘密でいっぱい歴史を世界の国々に伝えて紹介したいと思っています。

1986年に国連加盟国ユネスコの「世界文化遺産」と2001年の「世界人類の記憶」にリストアップされた古都ハットーサは、世界のすべての国々を友情と平和のために世界に招待しています。掘削中に発見された「カデシュ平和条約」と呼ばれる、世界に知られた最初の平和条約で歴史の深さを誇っています。

この帝国と文明の継承者として、我々はまた、アナトリアの地理と豊かな遺産を残した、千人の神と平和と寛容の都市であるヒッタイト州の首都を認めるよう招待します。

トゥラン.そぐっくオルク
ボガーズコイ知事

ヒターについての一般的な情報

ハッタサの考古学的所見に達する前に。エジプト、バビロン、アッシリア人、聖書と律法学者の書物、そして先進的文明の存在の碑文には異なる名前と言及された部族があることは知られていましたが、文書には至っていませんでした。この紛失した文明の痕跡は、1834年にフランス人の旅行者、チャールズ・テキシエがアナトリアで旅行していたときに発見されたもので、ヤツルリヤカヤ・オープン・エア・テンプルとハッティア・アンティーク・シティの残骸に到達しました。翌年に行われた探査と掘削の結果、その場所は失われた文明の首都ハッタサであったこと、ヒッタイト。

ヒッタイト人は、彼らの書いた資料で“ネシリ” - “ネサリ”と呼ばれていましたが、ヒッタイトという名前は旧約聖書（トーラ）でその部族を指す言葉のために使われました。



ヒッタイトの北部からアナトリアへの移動は、紀元前2000年に始まり、以前の歴史的な場面では都市国家として登場しました。ヒッタイトのもうひとつの都市、カニシエ/ クールテペ（カイセリ近郊）アニタ王はハッタサを降伏させ、長い封鎖の後でそれを征服する。しかし、彼

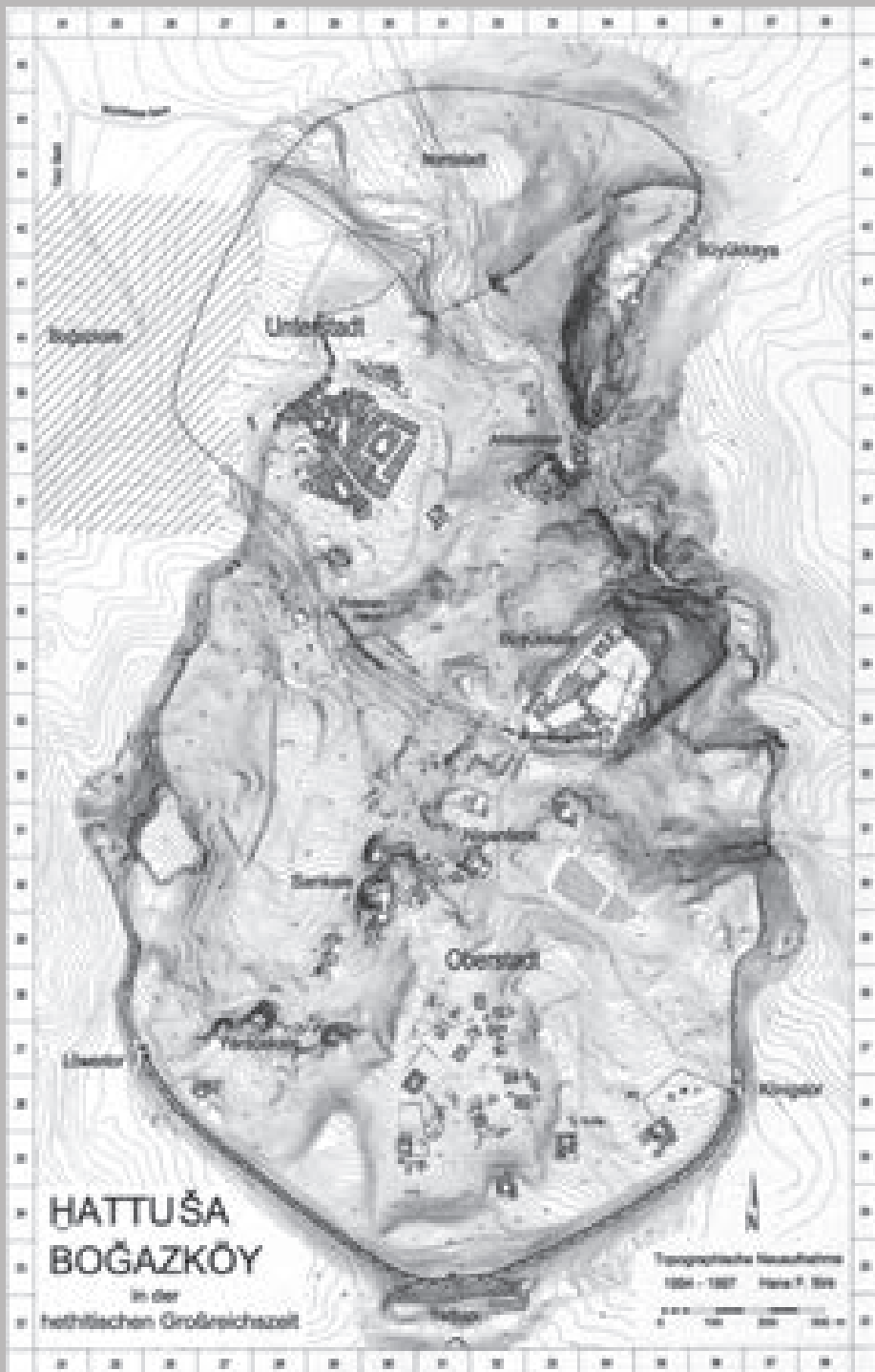
は望んでいた戦利品に手が届かず、街を焼き払い、土壌を不妊にするために、全土に草を植える。それに満足していないアニタは有名なCurse Textを印刷しています。「誰もがハッタサの石に石を置くと、空の神、嵐の神の呪いが彼にかかるかもしれません。

しかし、彼自身の孫ハッティユリがヒッタイト国を設立し、ハットーサをこの州の首都にするのは偶然である。ハッタサは、450年間、アナトリアとメソポタミアを支配するこの偉大な帝国の首都になります。(1650 - 1200 紀元前)

紀元前1200年に、ヒッタイトは、時代のスーパーパワーであるエジプト帝国と闘った数年後に、まもなく解明された理由のために首都ハッタサを出発し、南に移動する歴史的な場面から退去しました。ヒッタイト族は、アナトリア南東部とシリア北部の都市諸州に引き続き存在し、依然としてその謎を残している文明を残した。



スフィンクスが発見された瞬間の写真 (1907)



ハッタサ：シルバーシティ

単語「ハッタサ」は、ヒッタイト語の銀を意味するハッタッシュから派生したものです。ヒッタイト粘土錠では、ハッタサはシルバーシティとも呼ばれています。

地理的な位置の点で、ハッタサはキリシマクスプリングの真ん中にあります。コラムシティセンターまで87km、アンカラまで200km、サムスンまで250km、カイセリまで220km、ヨザガトまで36km、カッパドキアまで240kmです。

ハッタサは、1986年にユネスコの世界文化遺産に登録されました。2001年には、数万点の粘土錠を含むヒッタイト・タブレット・アーカイブがユネスコの世界人類記憶リストに掲載されました。

ハッタサの最初の居住地は5500年にさかのぼります。石灰岩期に始まった居住地は今日まで中断なく続きました。ヒッタイト期の最も明るい時期であったハッタサも、フリジア語、ガラテヤ語、ビザンチン、ローマ、セルジュク、オスマン帝国、共和国の時代の集落であった。



ハッタサの復興



第3回ハチュシリの再開
ハッタサ（ボガズコイ）
ヒッタイト帝国時代紀元前13世紀

ハッタサはなぜ重要なのですか

アナトリアで最初に組織された国家を確立したヒッタート人は、行政、政治、文化、建築、芸術の歴史に革命をもたらした多数のイノベーションを導入し、歴史の経過を変えました。コーカサスを通じて北部からアナトリアに来たと認められたヒッタイト人は、アナトリアとメソポタミアの流域を支配する巨大な帝国を確立し、アナトリアの地元の人々、ハッティと統一した。この広大な地理的地域に政治的統一をもたらしたヒッタイト人は、科学、芸術、文化、建築、社会生活の革新を備えた高度に発展したシステムを確立しました。この高度な文明のおかげで、彼らは何世紀にもわたって古代の世界と呼ばれていたこの地域を統治しました。

ハッタサは、最初に紀元前5000～6000年に定住され、最も明るい時期にヒッタイト帝国の首都として生まれました（1650年～1200年紀元前）。ハッタサは、アナトリア中部の急峻な岩に建てられ、アナトリアとメソポタミアの地理を支配していたヒッタイト帝国の政治と政治、宗教の首都として古代世界が支配された都市です。考古学的発掘の間に何十万もの粘土タブレットのアーカイブ、建築作品、記念碑的建造物が発見されており、歴史が書き直され続けています。



歴史の中での第一次世界大戦

現代のシリアの南に位置し、過去のミタンニ王国を主催した地理学は、第一次世界大戦が起こった地理学である。

アナトリア、メソポタミア、エジプト三角の交点であるこの敏感な地域は、頻繁にパワーディスプレイの場面でした。ミッタニ王国はヒッタイト族に拘束され、ヒッタイト帝国に税金を払



った。これはしばしばアッシリアとエジプトの帝国によって引き起こされ、支持の約束で完全独立運動を奨励した。この状況は、ライバルを弱めるための一歩であり、第一次世界大戦を引き起こしました。ヒッタイト帝国と、アナトリアと北メソポタミアのヒッタイト帝国とエジプト帝国と南メソポタミアの州との間に勃発した「カデシュ戦争」は、歴史上の最初の世界戦争であった。





シティ・オブ・ピース「ハッタサ」 - 平和の第一歩 - キッズ - (1269紀元前)

ハッタサで2州の間で署名された最初の平和条約が発表された。書かれた歴史の最初の条約は、カデシュ平和条約は、カデシュの戦い（1274紀元前）の15年後にAsi川のほとりにある、カデシュ市の近くの、ヒッタイト帝国とエジプト帝国との間で、ヒッタイト・ムヴァタリ大王2世とエジプト・ファラオ・ラムセス2世は友情と兄弟愛と宗教闘争に関する条約です。イスタンブール考古学博物館では条約の粘土錠が展示されています。条約テキストのコピーは、ニューヨークにある国連総会の前で平和の象徴としても表示されています。

第一下水道システムと大司令官

系統的で巨大な構造を持つ大寺は、ヒッタイト族と首都ハッタサの最も聖なる場所です。約3,500年前に建てられたこの巨大な建物は、多くのものが初めて経験された構造です。

王によって支配された宗教儀式が首席司祭として行われたこの巨大な建築システムでは、通りや道が飾られています。最初の下水システム、地下の飲料水システム、食糧が貯蔵されたサイロは、特別な儀式と物質的かつ精神的な浄化によって入場が行われる、崇拝の場所に大きな工学と専門知識を持っていました。







排水管の発見の瞬間。

廃水は家屋から陶器パイプを通して収集され、道路下の下水道に接続された。清水は中央噴水から供給された。





ライオンゲートと背景にイエルカピ。



ライオンゲート

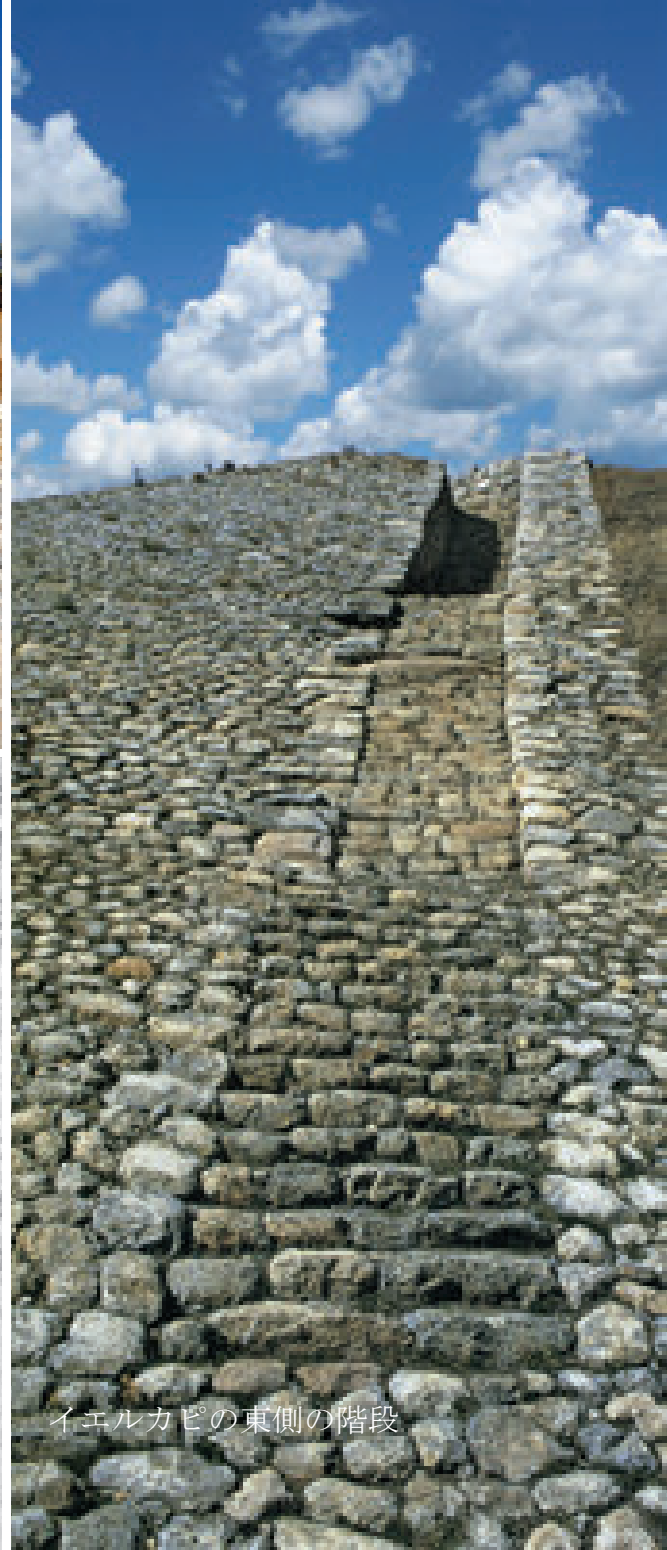
ライオンゲートは、アッパーシティの南西部の南壁の2つの壮大な門の一つです。ハッタサの他の街のゲートと同じように、このゲートにはメインゲートルームの両側に15 x 10 mの2つの正方形の塔があります。

大きな石ブロックのモールディングが見いだされる内部および外部ゲート通路がある。これらのゲート通路は、ブロンズシートで覆われた大きな木製の扉で覆われていた。

ドアの名前は、外側のブロックに刺繍された2つのライオンの像（頭、胸、前足）から来ます。アジア・マイナーでは、これは権力を象徴する保護のためにドアでよく使われるモチーフです。その門とは別に、王宮の入り口には門のほかに獅子彫刻が使われていました。

唇が開いているような獅子、舌が外れている、目が脅かされている壮大な眺め。





イエルカピの西側の階段の修復段階とピラミッド構造

イエルカピの東側の階段

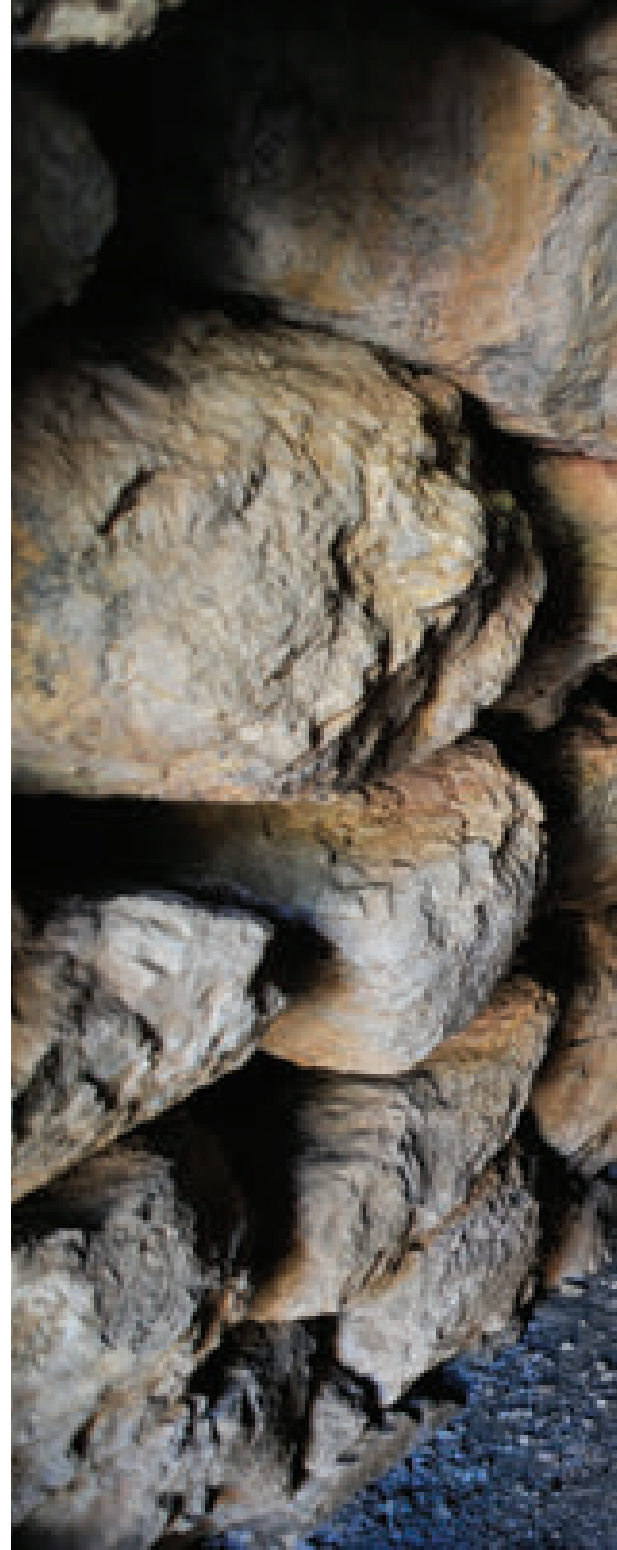
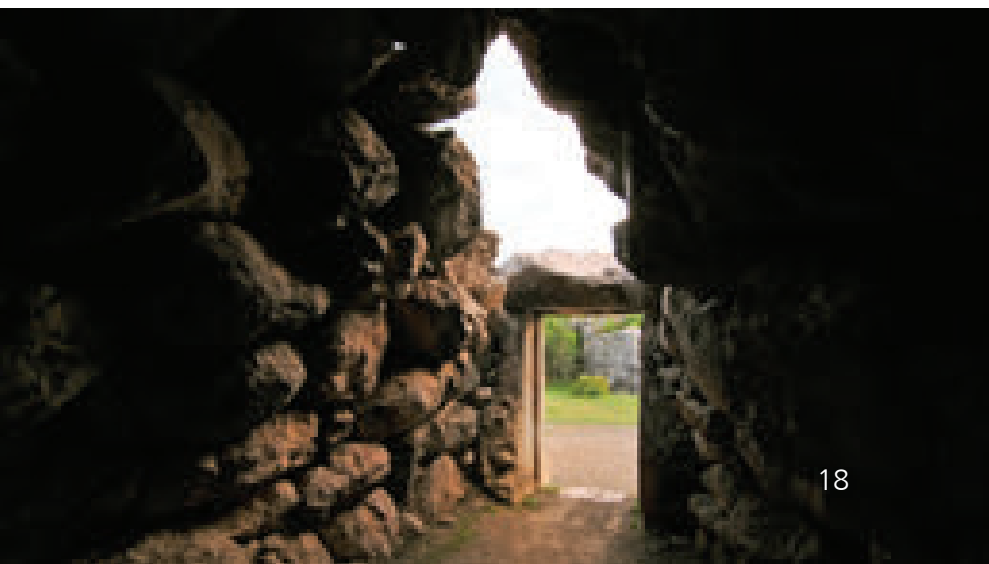
アナトリアの最初と最後の世代

都市の南端にあるグラウンドゲートはハッタサの素晴らしさを表しています。パターンウォールと呼ばれる長さ250m、幅80m、高さ35mで、その表面は石灰岩で完全に覆われています。ピラミッド型の建築は、建築におけるエジプト人の影響を示しています。それはそれを特に重要なアナトリアの最初のピラミッドの建物です



奇妙な地下道のパッセージ “トンネル”

都市の一番上の地点、地上門とスフィンクス門を擁する複雑な建物システムの真ん中には、長さ71メートルの石造りの石で作られたトンネルがあり、入り口の一つです。およそ3500年前に建てられ、まだ立っているこの神秘的な通路は、ヒッタイト帝国時代のさまざまな宗教的および文化的儀式で使われました。









スフィン・ゲート

ハッタサの最高位にある地上門の最上点とその中央に位置する、他の世界の保護シンボルとして知られている4つのスフィンクスが守っている神秘的な門です。それは人間の頭、ライオンの体、イーグルウィングで描かれています。4つのスフィンクスのうち2つは街の入り口にあり、2つは街の外にあります。これらは、アナトリア地方のスフィンクスの最初の例であり、ライオンと同じくらい強力であると言われています。イーグルほど自由であり、人間のようにスマートです。

1906年に行われた考古学的発掘調査では、ゲートで発見された4つのスフィンクスのうち2つが今日まで生き残ることができました。1907年に復興のために掘削チームによってドイツに持ち込まれたハッタサ・スフィンクスの1つが1924年に返還され、イスタンブール考古学博物館で展示され始めました。ハッタサ・スフィンクスは、さまざまな理由から離れ、長い闘いの結果、ドイツから持ち込まれ、2011年に再結集され、再びハッタサで会うことになった。





キング・ゲート

大都市の東部のこの門は、西のライオン門に相当します。このゲートには2つのゲートタワーと2つの高尖ったアーチ形のゲート交差があります。キングゲートはサイズとレイアウトの点でライオンゲートとまったく同じです。

ここでは、塔の大きさは約10 x 15mです。2つの翼を備えた大きな木製の扉で閉められたので、幅と高さが33メートルのドアの高さは約5メートルと考えられています。

ドアの正面壁から正面に通じる道路の外向きの側面の隣に、タワー付きの壁が建てられました。したがって、保護者は敵を両側の攻撃エリアに導くことができます。

キングゲートの救済は、ドアの外ではなく、街を見下ろす内部にあります。高いレリーフとして扱われるこの図では、戦士が彼の武器で描かれています。戦士の身長は、ヘルメットの先端から足の裏まで2.25メートルです。

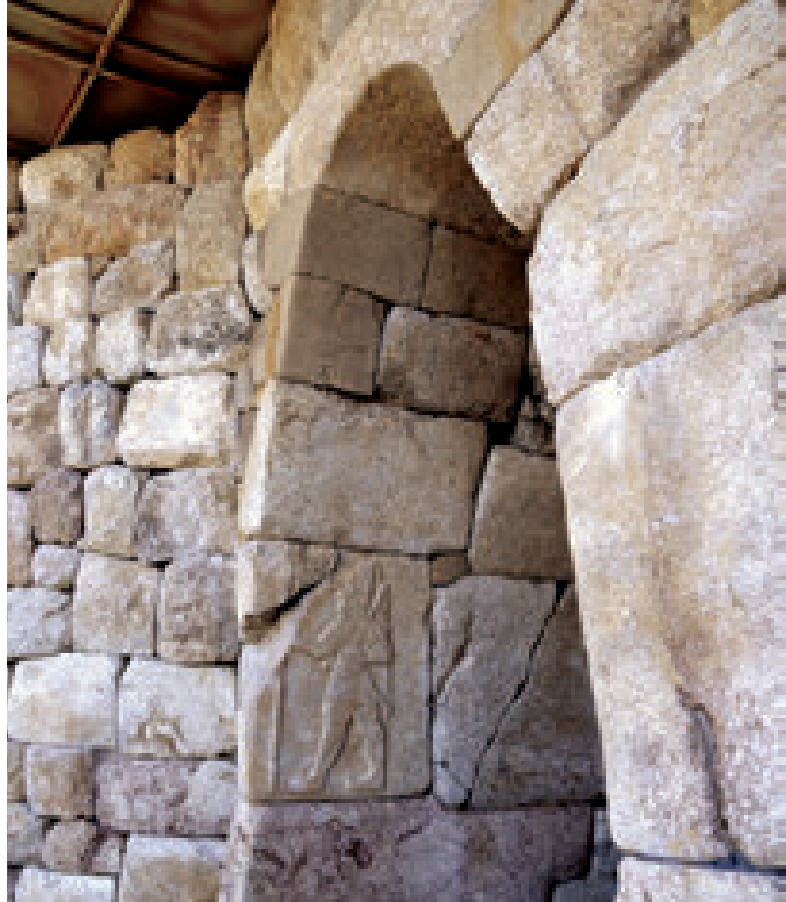
戦士は豊かな装飾を施した短いスカートのみを着用します。上向きに調整された三日月形の縁を持つ短い剣が、彼のワイドベルトの上部に取り付けられている。それはその手に壮大な斧を保持しています。斧の口は完全に後ろにあり、首の後ろに乳首のような棘があります。戦士は大きな頬の保護具とフード付きヘルメットを着用します。彼の長い髪は肩の下に届く。ヘルメットの先端から始まるストリップは、肘まで下がります。ヘルメットの前にカーブした角があります。舵の角は神のマーカであるので、救済は神の表象とみなされます。





ヒストリカルルーム - 死後の扉

王宮がある大城の南側には、礼拝機能を持ち、象形文字で地下世界への門と言われる2つの番号付きの象形文字室があります。部屋はヒッタイト王のシュピリウィア2世によって建設されたと理解されており、部屋の壁の碑文には王の行動と部屋の機能が記述されている。部屋の最も深い場所では、太陽の神が彼の手にはパワースティックで描かれています。碑文の反対側には、シュピルリウムの救済があります。部屋の底まで伸びる水路はまだ謎を残しています。





聖徒の王宮

ヒッタイト族の王たちは、急な崖の上に建てられた宮殿から国を支配していました。今日はブユックケルと呼ばれていますが、平原全体を支配しています。長さ250m、幅140mの建物に35,000㎡の建物がありました。皇居には、王と女王の御座、住まいの部屋、レセプション・ルーム、カルト・ルーム、キッチン、倉庫、書庫、内庭、および行政や宗教に使用される他の多くの部門が存在していました。



第1王国警備隊。

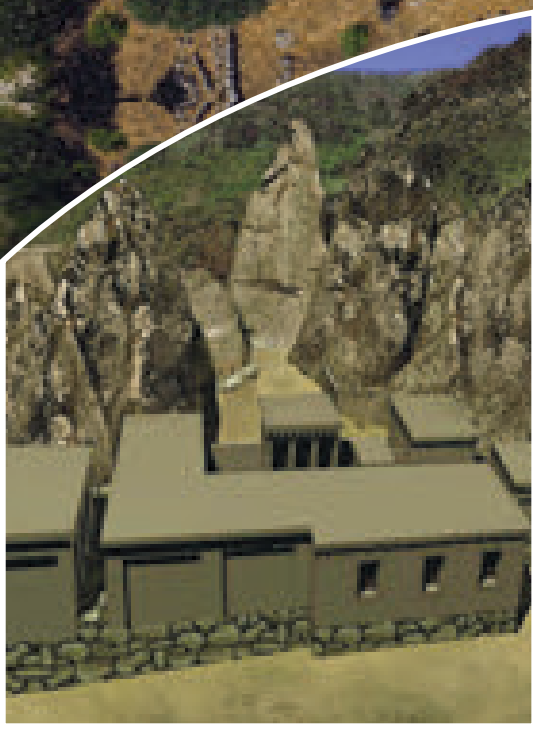
ヒッタイト王宮のすぐそばには、王を守るために配備された独立した組合があり、王によってのみ命じられました。この特別組合の別名は「ゴールドensp Spears」と「ネサディ」部隊でした。この特別に訓練され、装備されたガーディアンユニットは、王と一緒に行動し、特別に選ばれた戦闘員で構成され、王と王の家族を保護しました。

最初の空の神殿 - ヤジリカヤ

ヤジリカヤ・オープン・エア・テンプルは、その建築的特徴の点で世界で最初に知られている例です。自然と急な崖の間に慎重に建てられたオープンエアの寺院は、2つの主要なセクションで構成されています。

千の神を持つ都市であるハッタサの90以上の神々の公式な通路を描いた岩の救済に「神の通路」と言うことは可能です。チェンバーBは、地上の行事や儀式が行われた寺院の部屋Aで組織されていましたが、一般的に死後の儀式に使われました。この特別な部屋への入り口は、地下の生き物を象徴する2つの伝説の悪魔によって保護されています。

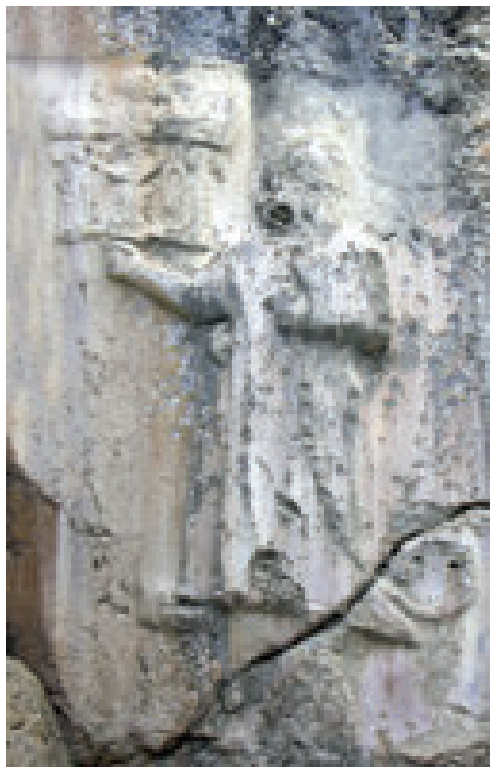




祭りが行われた部屋Aでは、ヒッタイト族の最も重要な神、テムスプスの嵐、妻のへパト、息子と2人の娘がメインの場面にいます。このシーンで注意を引く図では、テシュピは2つの神々の上に描かれています。彼は神々の神、最大の神として描かれています。部屋Aの左側には神々があり、右側には女神が公式な通路の順序で描かれています。





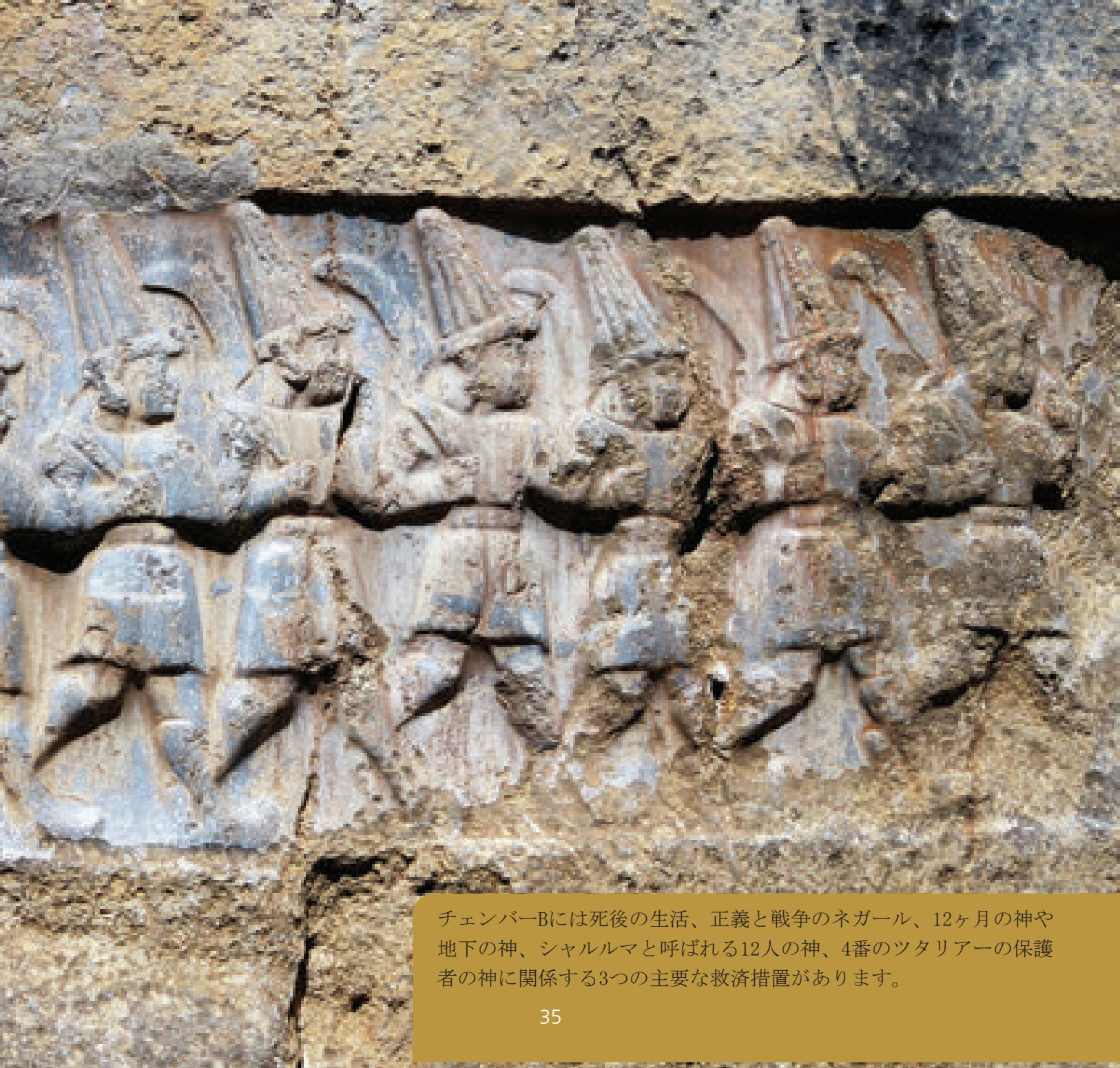


チェンバーAの最も素晴らしい救援は、ヤジリカヤオープンエアの寺院を建設した4人目のツタリアーの救済です。山の向こうにあるゴスの衣服で彼の救済の隣にある象形文字の碑文では、寺院は父親の名前で建設されたと言われています。









チェンバーBには死後の生活、正義と戦争のネガール、12ヶ月の神や地下の神、シャルルマと呼ばれる12人の神、4番のツタリアーの保護者の神に関する3つの主要な救済措置があります。



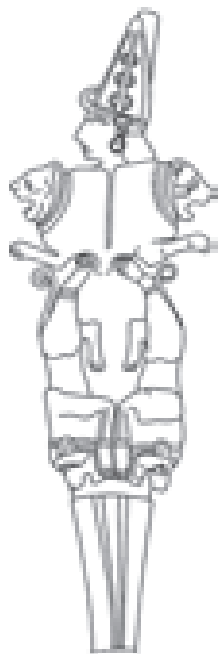
ナルガル (Nergal) は、剣の神としても知られ、最も輝かしい地下の神です。チェンバーBでは、腕に刀が描かれ、腕と脚はライオンでできています。剣は地面に刺され、地下を支配していることを示します。

12ヵ月または12ヵ月の地下神として知られている12人の神像が、公式の式典通過中に描かれています。

4位のツタリアーは、他の世界の最高神であるシャルルマの腕と、彼が監視と保護を受けることを説明したいと望んでいる保護の神に描かれています。

部屋Bでは、岩に刻まれた3つの中空の区域がおそらく祭壇区域でした。ヒッタイト人は、死者のための埋葬方法と焼く方法の両方を適用しました。また、死体の灰が置かれた岩の墓があるかもしれないという意見もあります。

部屋Bには、象形文字の碑文と彫刻に属する基礎があり、それは見つからない。

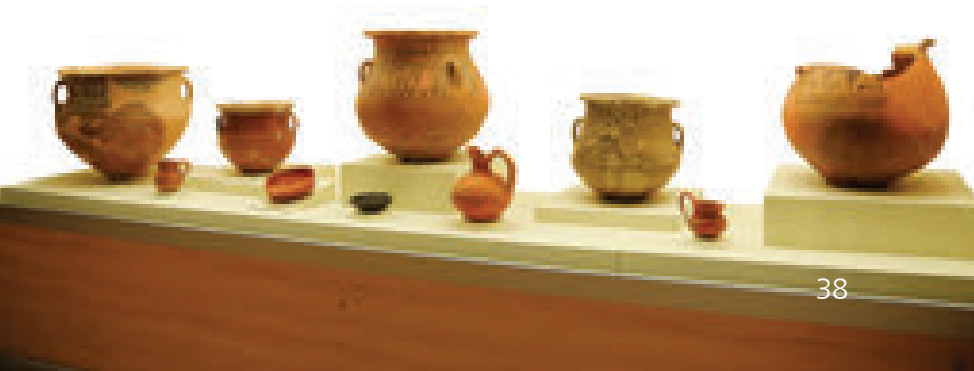






ボガーズコイ博物館

1966年ハッタサ発掘調査で発見され、2011年に復元された展示会のために開かれたボガズマ博物館は、ハッタサの発掘の結果として見いだされた作品を持つ訪問客を待っています。博物館には豊富な歴史的遺産を持つ重要な場所があります。他にも数え切れないほどの作品、特に楔形文字の錠剤、陶磁器、切手とシールプレス、金属製の道具、ユニークな花瓶とスフィンクスがあります。







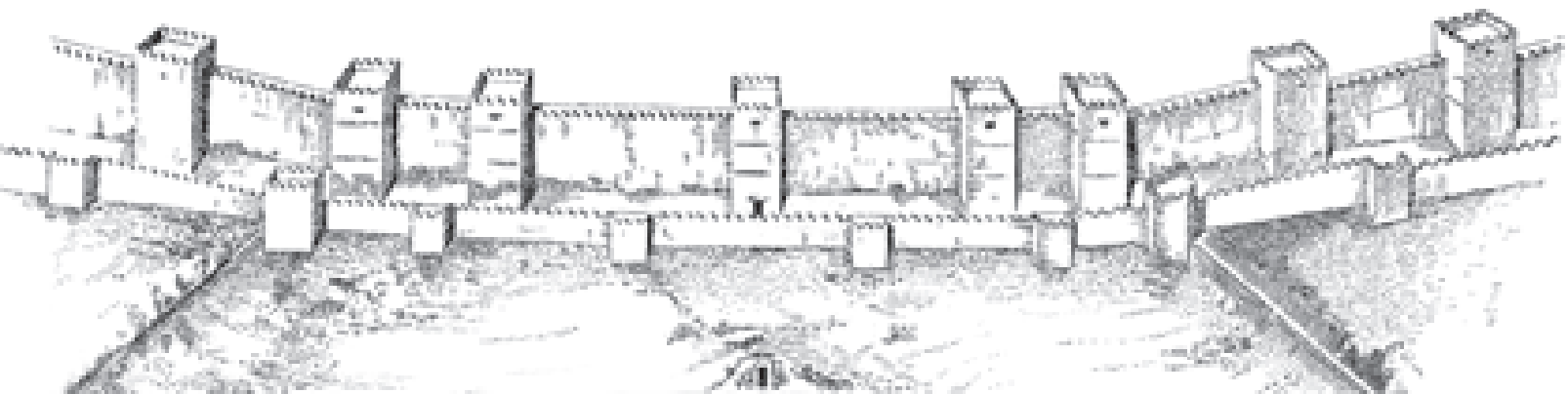
Hittit Dönemi Hititçe Periyot
M.Ö. 1450 - 1200 İ.Ö.



歴史の最も古い壁

“ヒッタイト帝国の首都、ハッタサは76ヘクタールの地域に設立された時代の巨大都市です。セキュリティ上の懸念から急峻な崖の上に建てられ、長さ7キロメートルの壁の内壁と外壁から構成され、都市と国家の安全が最高レベルにあることを示しています。これらの壁は有名なチャイナウォールの数千年前に建てられたもので、秘密の通路、高い塔、そして巨大な幅を持つ時代の最先端の防衛構造の例です。 “



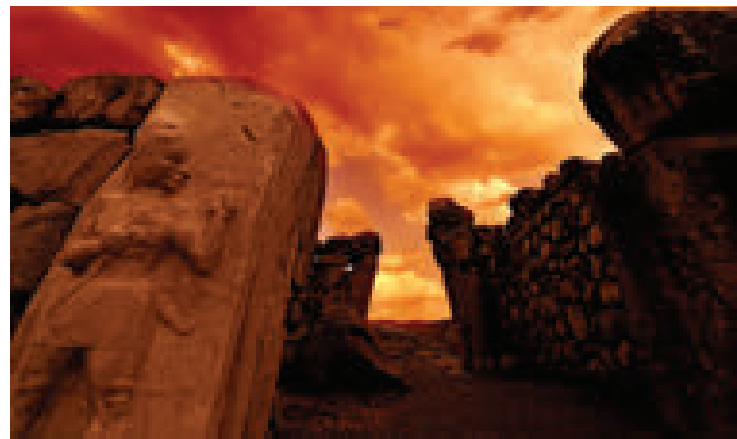






ゴージャスシティゲート

周囲の都市壁システムのハッタサ市の頂上には、グランドエントランスゲートが建てられました。これらの門は、最初の入り口にある首都ハッタサに来る訪問客に、街の栄光と美しさを伝えていますが、その建設の特徴によって異なる象徴的で宗教的な意味も持っています。ライオンゲート、グラウンドゲート、キングゲート、スフィンクスゲートはハッタサの記念碑的な門です。



「地面は封印されている」

都市の壁に建てられた首都ハッタサの豪華な都市の門で行われた儀式の痕跡は今日まで続いています。首都ハッタサで毎晩、市のすべての門は閉鎖され封印されており、出入りを防いでいます。午前中に門を開くために来た役員は、封印が壊れているのを見た夜、外国人がハッタサに入ったことを知っていた。何年も保護されてきたこの伝統は、今日では「敷地は密閉されています」という表現に達しており、地元の人々には依然として使用されています。



アニタの呪い

ヒッタイト王朝の最初の公式の王ハットゥシリ1世は、ハッタサの集落を攻撃し、焼却し、破壊し、その地域に草の種を植えたアニタの第2孫であった。彼はその“呪いのテキスト”から約100年後に都市を再建し、ハッタサリからハッタサリの人々を意味する彼の名前を変え、ヒッタイト帝国の最初の基礎を築いた。（紀元前1650年）

彼の祖父であるアニタによって書かれた“Curse Text”では、カネシュの王がハッタサの発掘に起因していると分かりました。

“私は夜に攻撃で街を征服した。私は野草を植えました。私の後でキングになってハッタサに再定住する者は、スカイの嵐の神の呪いが彼の上に来るかもしれない。”



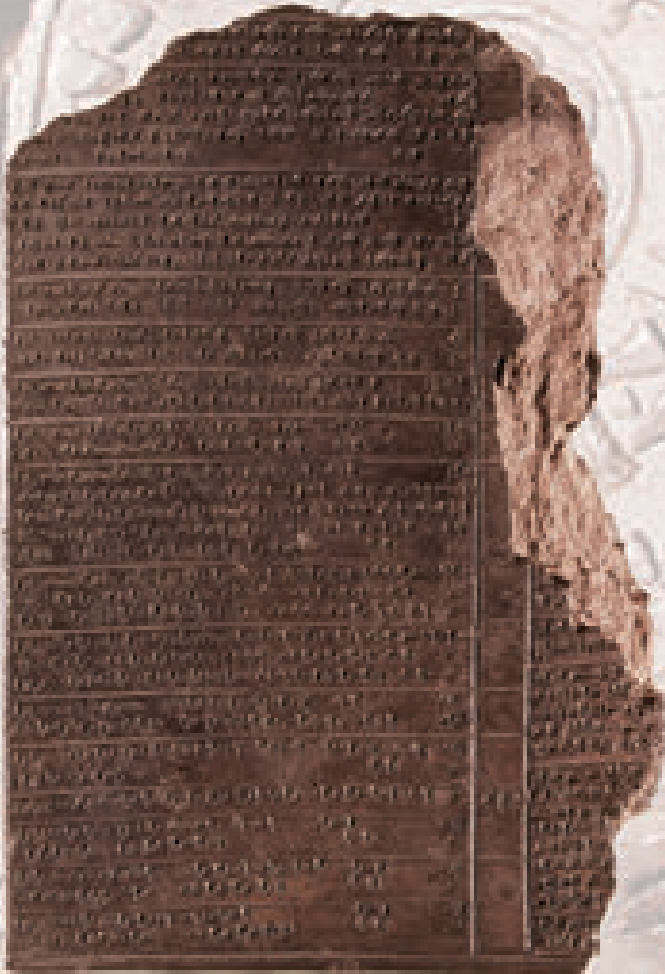
アニタ錠

ハッタサ（ボガーズコイ）

オールド・ヒッタイト期（紀元前16世紀）

最初のトロン・ヘアー・システム - テレピヌー・ロー

テルピヌス法と呼ばれる法律によって王位の争いを防ぐ準備が整ったとき、死亡した王の後の王位継承者は非常に明確かつ明確な順序で決定されました。過去にヒッタイト帝国で目撃された王座紛争のために権力を剥奪する危険性を避けるために書かれた法律文書は、歴史上この応用例の最初の例である。



ヒッタイトの法律が書かれた粘土の錠剤
ハッタサ (ボガズコイ)
古いヒッタイト期、紀元前16世紀。
ヒッタイト



ハッタサ：たくさんの街を持つ街

ヒッタイトの楔形文字のタブレットでは、「ハッタサ：千人の神を持つ都市」という言葉が頻繁に使用されています。

ヒッタイト族は宗教的信念を尊重し、神話的な神々を重視するコミュニティでした。最高の寛容感を体験した都市は首都ハッタサでした。ヒッタイト人は神に敬意を表して礼拝するのに間違いをしないように注意を払っていましたが、怒らないように寺院を建てました。

ヒッタイト人は4番目のチュタリア時代、すべての神々を首都ハッタサに集め、これらの神の寺院を建て、行政の中心であるほか、宗教的で神聖な中心にしました。このようにして、彼らは全国的に政治的、宗教的誠実さを達成しました。

宗教祭の祝宴

ハッテサは千人の神々を持つ町で、フェスティバルや儀式の街でもありました。ヒッタイトの書かれた資料に言及された30以上の祭典がありました。これらの祭りの総日数は約188日でした。最も重要なものはAn-Tah-Sum-Sar（サンフラワー・フェスト）とプリュリヤ春祭りでした。





特定のカレンダーに応じて、豊かさ、雨、動物の繁殖、王の力の増加、宗教的な清掃のために神を満たし、祈るための宗教的儀式であった偉大な準備の結果、様々な時期に定期的に祭りが行われました。ヒッタイトの最大の祭典は、一般的にはハッタサから始まり、他の重要な都市で祝うことによって全国に広がっています。



最初のシロ

ヒッタイト人は彼らが住んでいた大惨事や悪い出来事から教訓を取って未来を保証することを学んだ。アナトリアでの大きな干ばつとその後の食糧不足の結果、彼らはエジプト帝国からの小麦を求めなければなりません。干ばつ期間の対策を講じるために、大規模な地下サイロを建設しました。彼らは特別な技術を使用して石の壁の間にサイ





バイクカヤの穀物サイロの10-ストーン舗装床



炭化小麦



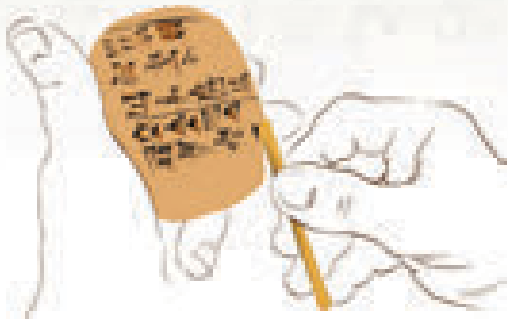
大寺院の食糧立方体と倉庫（1980年代）

ロを建設しながら、焼いた砂でできた大きな船を使用しました。ヒッタイトによって開発されたこの技術により、彼らは、何年もの間、小麦や他のタイプの乾燥した脈を劣化させることなく維持できる巨大なサイロを持っていました。数百万人の人々の食糧需要を満たすことができるサイロシステムは、考古学的発掘で発見された。サイロが見つかった時、まだ小麦、大麦、オートムギなどの穀物がたくさんありました。



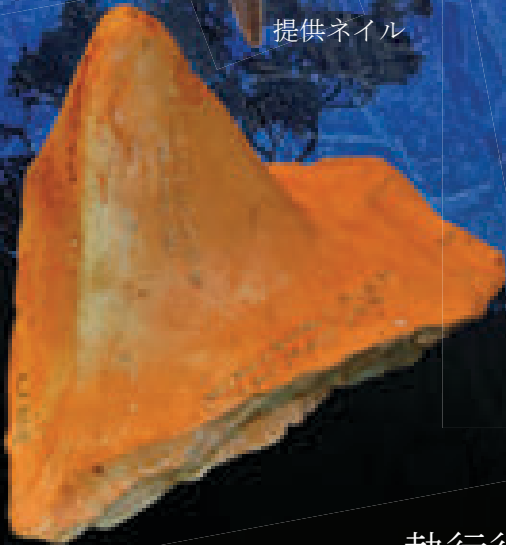
最初の筆記

ヒッタイトの最大の楔形アーカイブはハッタサにあった。今日まで行われた考古学的発掘では、3万個以上の錠剤と3000個のシール（Bulla）が発見されました。ハッタサに見出されたこれらの錠剤を調べた結果、注意深く書かれた焼きたての錠剤が系統的に保管されていることが理解された。ヒッタイト王は、ANALと呼ばれる年次作品を慎重に保管し、印刷した。王の宮殿では、歴史を書いた人々は尊敬される役人とみなされました。ヒッタイト王の中でも、第2のマーフィーは、国家の年間コースまで維持されていた独自のルールと年次（ANAL）で歴史執筆において際立っています。





提供ネイル



肝臓占星術の例

執行役 - 聞き取りと職業

ハッタサのタブレットアーカイブで遭遇するもう1つの一般的な問題は、幸運の錠剤です。書かれた情報源と神話の物語の両方から、幸運と魔術はヒッタイトの人生で頻繁に適用される問題であると理解されている。

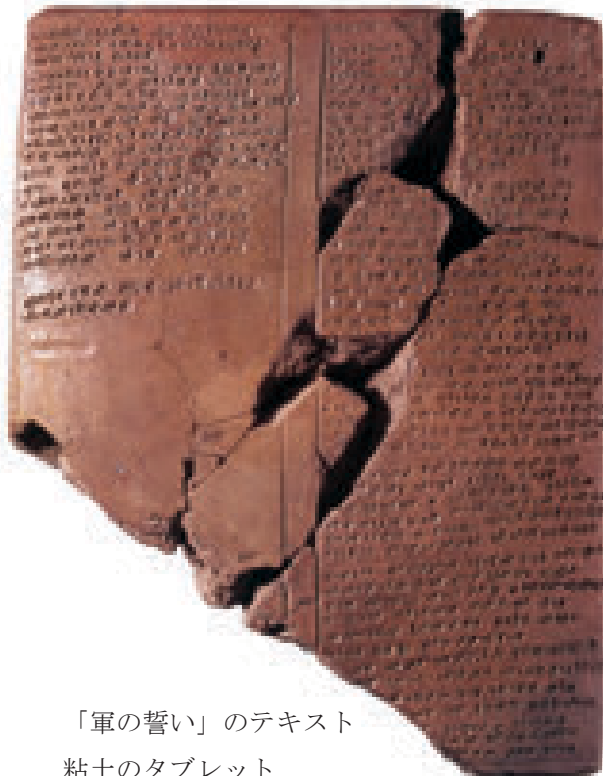
ヒッタイトの神々のために犠牲にされた羊の痙攣肝臓を見ると、占いの錠剤はしばしば遭遇しました。





第一級格付けの適用

軍事順位の最初の出現は、ヒッタイトの遺産である。各神、王および指揮官の重要性およびランクは、彼らが身につけていた帽子の角の記号によって決定されました。ホーンの数が増えるにつれて、ランクが大きくなりました。エジプトでも同様のシステムがヒッタイト人の影響を受けて適用された。

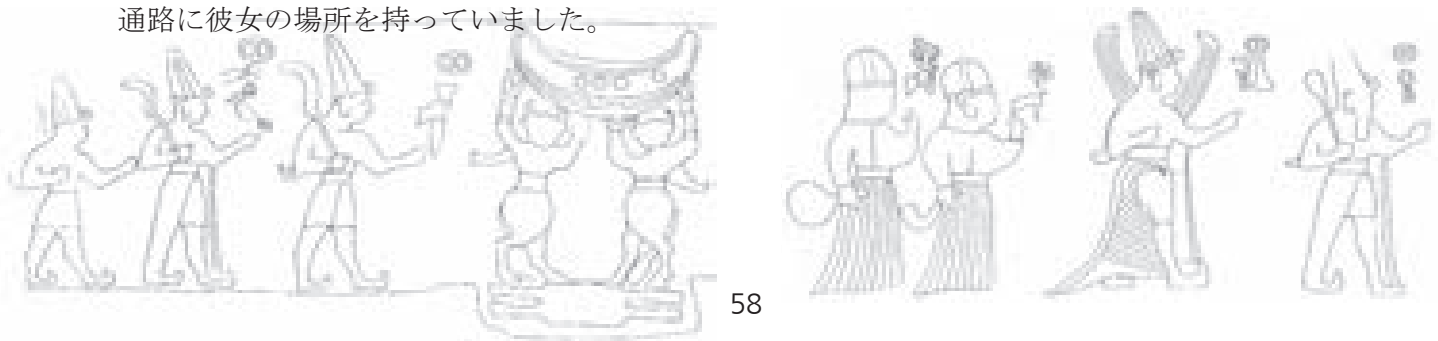


「軍の誓い」のテキスト
粘土のタブレット
ハッタサ（ボガズコイ）
ヒッタイト帝国時代、紀元前13世紀
ヒッタイト



愛の第一歩：イシュタル

ギリシア神話のエロスやエジプト神話のハートルのような愛と神の最初の記述は、数百年前に愛の女神“イシュタル”としてヒッタイトの時代に発見されました。重要な場所を持っていたイシュタルは、岩の起伏に翼のある裸の女神として描かれたヤジリカヤ野外寺院で神の通路に彼女の場所を持っていました。



第一の女性の権利と女性の重要性

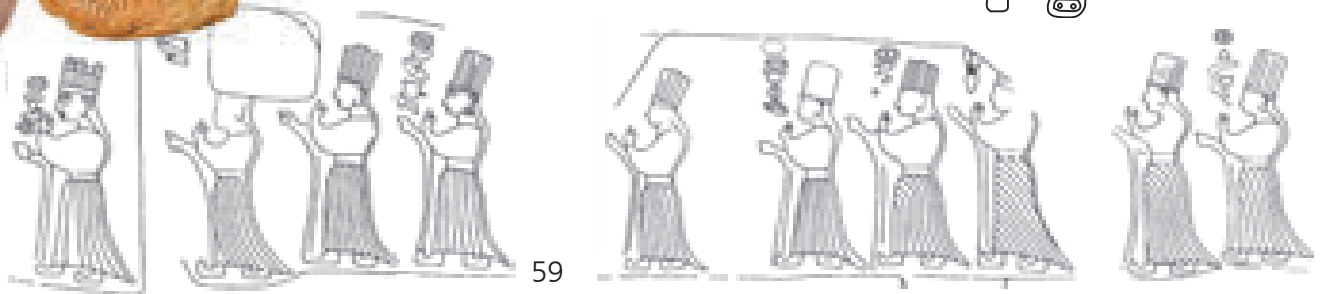
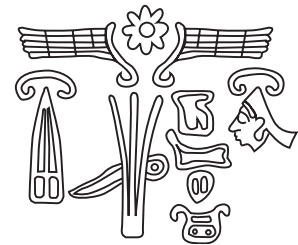
旧世界文明の家父長家族構造のため、女性は常にバックグラウンドにいました。しかし、ヒッタイト人はこの認識を変え、女性が社会生活と政治生活の両方において積極的な役割を果たすことを可能にしました。ヒッタイト・クイーンズに関する情報を提供する数多くの書類がこれまでに届いています。ヒッタイトでは、女性の社会的地位とその権利は、ヒッタイトの法律によって保護されていた。ヒッタイトの女性たちは、政府や政治的な生活において積極的な役割を果たした。彼らは司法事件や外国との関係に関わっていた。彼らはすべての公式および宗教的儀式的議定書で開催され、彼らは終わりまで彼らの代表権を使用していました。

ヒッタイトの法律では、男性と女性との間の刑罰と苦情の差別はなく、犯罪も同様に処罰された。女性は人生のあらゆる分野に積極的に関わっていました。例えば、書かれた情報源によれば、女性は修道女、医師、農家、ミュージシャン、その他多くの職業のような多くの職業で活発であったことがわかります。

国家行政では、国際条約を含む条約は、有効性のための国王の印鑑のほかに、「タバナナ」という題名のもとでクイーンのシールを負わなければならなかった。ヒッタイトの神話では、多くの文明には見られない多くの女神の人物が会う。私たちは、多くの女神が大空の寺院で公式の通過式で描かれているのを見ています。婚姻における不動産の権利、離婚時の女性の生活を保証する支払い（相続人に類似）は、書面で女性の権利の観点から遭遇した最初の用途である。



ハッシュシリ - プウデヘパの印鑑



最初のタイトル

その土地は、ヒッタイトで国を支配した王に属し、王は自分の裁量で一定期間、自分が望む人々に土地を与えることができた。ヒッタイトによって最初に適用され、その後の年に多くの文明によって使用されたこの土地制度の機能は、ヒッタイトによって記録された。掘削の結果として表紙と裏表紙として発行された多くの土地寄付文書が見つかりました。土地の配分の場所、金額、期間を明確に示すこれらの書類は、封印された標章であり、歴史上のヒッタイト人で最初に遭遇したものです。



最初のバス

ヒッタイトの社会では、水は神聖であり、水で浄化され、清掃は最も重要な宗教的義務の一つです。考古学的発掘には何百ものヒッタイト風呂が発見されました。ほぼすべてのヒッタイトの家には、座った水と排水路を持つ焼き砂で作られたバスタブが見られました。ヒマラヤ山脈で作られ使用されたバスタブは、まだボガズマ博物館に展示されています。



金属加工の先進国

ヒッタイトの首都ハッタサにある採掘と採掘の道具は、ヒッタイト文明がこの点で先駆的かつ先進的な技術を持っていたことを示しています。彼らは時代に先進的なツールを開発し、フットベローズを使用して高温を達成し、熔融した金属を金型に注入することによって特別な金属加工を得ました。彼らは戦争道具から装飾品まで幅広い分野で金属製品を使用していました。



ヒツテミチロジー

ヒッタイト人には多くの神々や女神がいましたが、そのためには地域の宗教儀式の場で様々な儀式が行われました。ヒッタイトによって書かれた多くのタブレットでは、パンテオンには千の神がいると言われています。しかし、今まで、考古学的発掘の後、楔形文字の中になぜか600の神の名前が見いだされました。ヒッタイト人が新しい土地を征服した時、神の数は増えた。これらの中には、メソポタミア、ハッティ、ハリ、ルーイ、パラアの起源の神々や女神がいました。神と女神の多くの神話の物語は、今日までに達しています。



ハティオリジンの失われた神テレチヌー

ヒッタイト神テリピヌスは、知られていない理由でハッティの人々に怒っており、国を去っています。テリピヌはとても怒っているので、右足を左足に、左足を右足に当てようとします。この状況は、さらにテリピヌの怒りを増加させます。怒っている神は、土地に戻り、豊かになると繁栄がなくなります。農業と家畜は満期になり、飢饉が始まり、動物や人々は妊娠することができず、水資源と森林は乾き始めます。

したがって、ヒッタイトは、国でこの混乱を取り除き、彼のために犠牲を捧げ、祈り、神のテルピヌスを見つけることができないように、テリピヌス神を見つけるために航海す



る。彼らは他の神々から助けを求めます。ハッティの人々を失望させることはないが、Sunの神はテリピヌを見つけるためにワシを送る。“私は高山に上がって、深い谷に分かれ、海の青い波をほとんど通り過ぎましたが、私は最高神のテルピヌスの痕跡を見つけることができませんでした”との結果は出ていません。神テリピヌは失われました。

希望が終わると、ハナハンナ神はハチを割り当てます。蜂は眠っている間にテルピヌスを見つけ、刺すように目覚める。怒っているにもかかわらず、ミツバチは彼に蜂蜜を与え、テリピヌスを落ち着かせ、彼に戻るように説得し、その人生は全国の正常な生活に戻る。



TANRILARIN BİNEKLERİ “HURRİ VE ŞERRİ”

Hitit inancı ve mitolojisinin en büyük tanrısı kabul edilen Teşup’u taşıyan arabayı çeken kutsal ikiz boğaların adıdır. Boğalardan bir tanesi iyiliği, diğeri ise kötülüğü temsil eder ve baş tanrı Teşup hem iyiliğe hem de kötülüğe hükmeder.Yine rivayet odur ki nasıl 12 tanrı bir yıl içerisinde bulunan 12 ayı temsil ediyorsa; Hurri ve Şerri de gece ile gündüzü temsil etmektedir.



最初のおもてなしサンプル

遊びやおもちゃの歴史は古代にまで遡り、彼らはヒッタイトのための別個の芸術として重要であった。子供の墓に見られる笛吹き楽器の存在は、その期間のおもちゃは遊びに使用されるだけでなく、悪霊から守るための物として使用されることを示しています。ヒッタイトは、今日までに地球、石、骨、粘土、金属からたくさんのおもちゃを作った。

最も興味深いものは人間に属するロボットのおもちゃとピンで関節でつながれた動物です。お互いに小さなピンでつながっているこれらのロボットは、人や動物のように動かされました





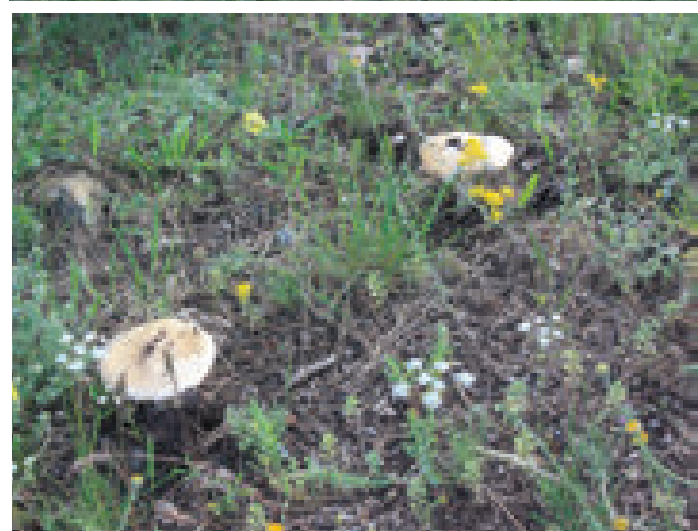
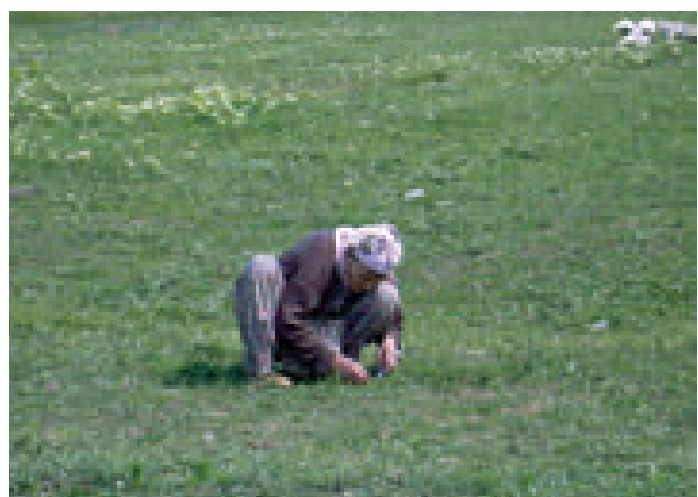
ボガーズコイの自然

ボガーズコイには自然の美しさを持つ人々に影響を与える地理があります。ブダコズ・ブルックは、平和に生活を与え、その水はヒッタイト以来減少していない。緑の自然に囲まれた滝がどこにあるかを見る価値があるカヤリボガス溪谷。ホセールの滝はそこに岩の溝があるような形をとっており、それはまれな自然の驚異です。



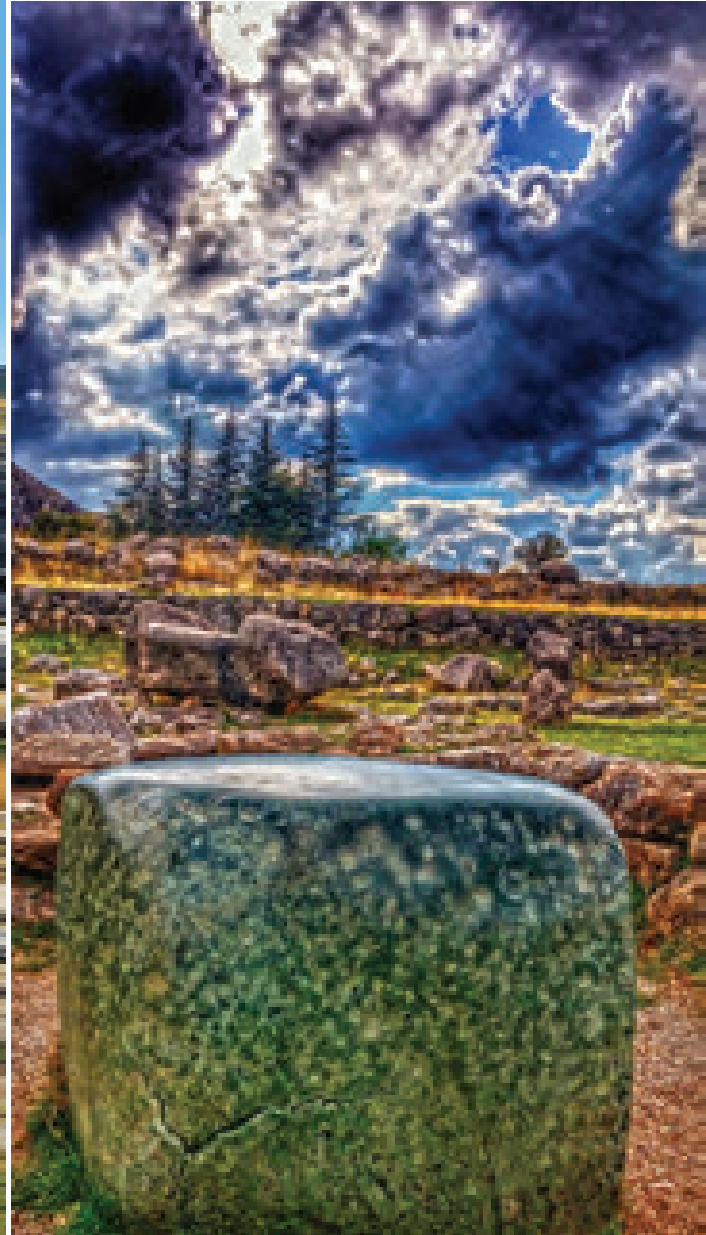
ハッタサの春は違った美しさです。ヒマワリ、野生のヒヤシンスは、ボガーズコイを花嫁のように飾る。あなたはオークの森で様々なキノコを集めることができます。ハッタサは、鳥や野生の花の移動に伴い、魔法の場所になります。







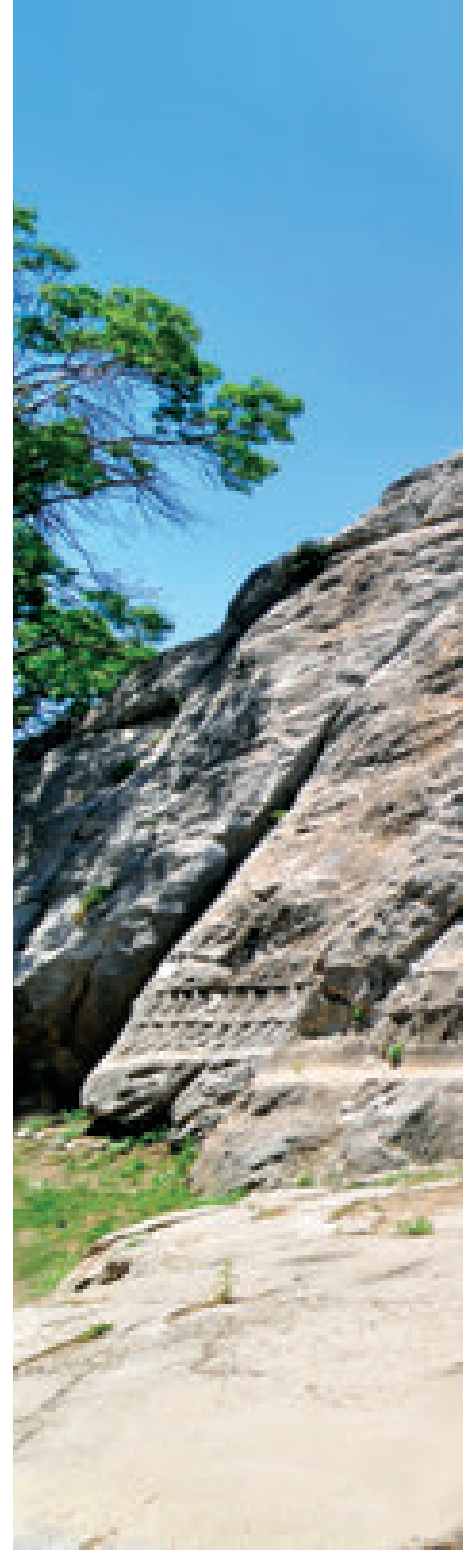
夏には、ボガーズコイ（ハッタサ）にはこのサイトを訪れる観光客が溢れています。ハッタサは、多くの国や国からの来場者を歓迎しています...小さくて魅力的な地区、ボガズケレはこれらのゲストとよりダイナミックになっています。路地や道路、考古学的な場所にある地元や外国人観光客は、安全のために街を散策し、私たちの文化を認識する機会を得ます



青い石は大寺院にあります。それはすぐにその色と磨かれた明るい表面で注目を集めます。この石については、空から落ちたような噂があり、宇宙人が持ってきたエジプトから送られました。これらの噂の中で最も一般的なのは、この石に触れることによって作られた願いが成就するということです。偉大な寺院の訪問者は、この石に触れることを望みます。

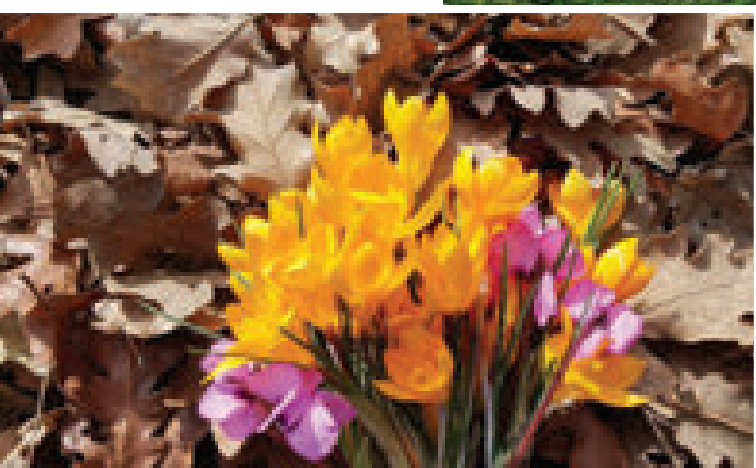


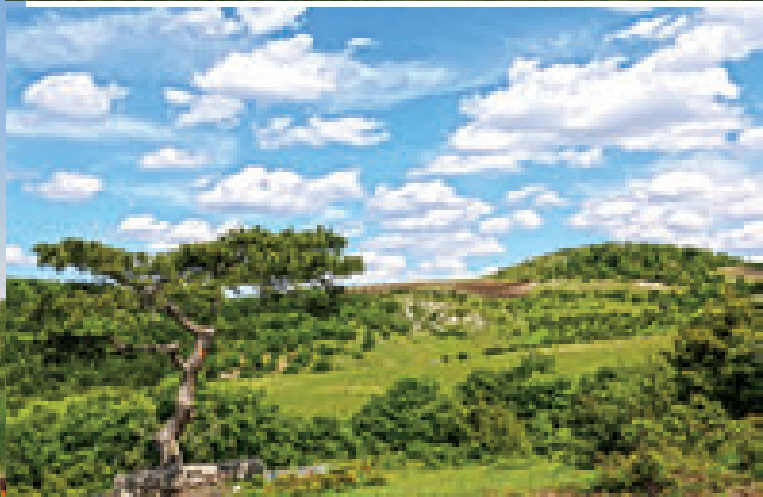
歴史の最初の野外寺院
ヤジリカヤは静かで平和です。沈黙は石のマスターの音によって妨げられます。マスターの周りに集まっているツーリストは、小さな彫刻が手だけのナイフで形作られているのを見ます。石の彫刻は地元の若者にとって非常に重要な職業です。





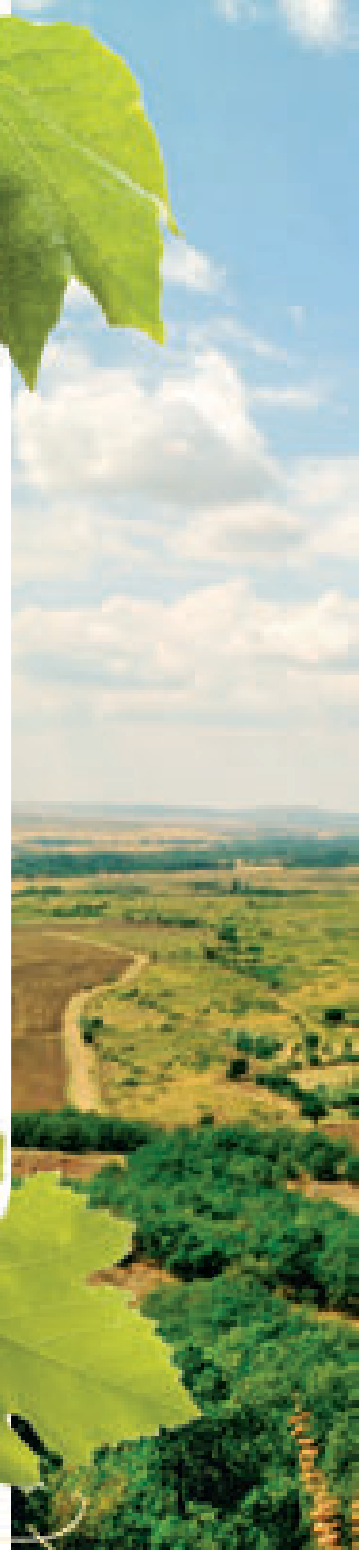
イビカムの池やレクリエーションエリア、カンピナーの森、山々からの平原や泉は、自然愛好家のための自然とともに珍しい場所です。



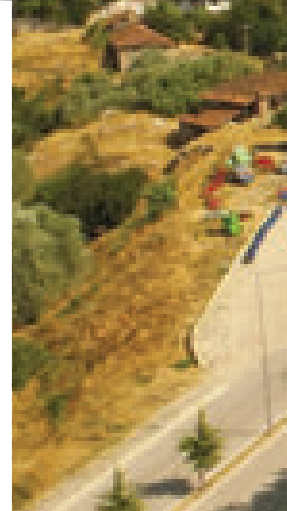
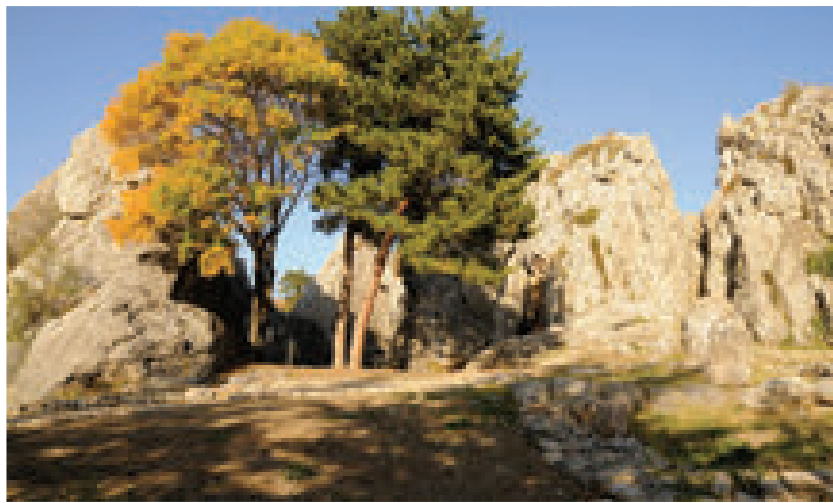




ホーク畑の歴史はヒッタイトにまで広がっていると噂されています。ここで栽培されている天然ぶどうと、これらのぶどうから作られたぶどうぶどうは知っている人のために独特の味を持っています。ビンテージ・フェスティバルが組織され、投げ槍や射撃競技がここに組織されたという人々の話があります。過去のように十分に大きく維持されているわけではありませんが、ホーク・ビネヤールズは今日でも約1000デカールの土地にまで広がっています。







ボガーズコイを秋に訪れているなら、野生（野生の真珠）、ブラックベリー、サンザシ、野生の米など、野生の味の黄色、味のすべての色調を見ることが出来ます。オークツリーは葉を落とす前に人々に魅力的な雰囲気を与えます...特に今シーズンには、イビカム池は見る価値があります...







冬はハッタサを雪の毛布で覆います。街は長年にわたり春を祝います。今、それは眠って休む時です。ハッタサは毎朝晴れて冬に起きます。都市の最高点から、溪谷へのスフィンクスの中から、それは春に喜びと憧れを持つ都市全体、ホーク・ブドウ畑、ブダコイズ溪谷に敬意を表します...



歴史的DULKADIROGULLARIマンション

市内中心部にお越しの際は、約400年の歴史を持つオスマン帝国建築の2つの大邸宅の雄大さに魅了されます。言及された大邸宅は Dulkadirogullari公国からのDolarslan家族から残された。8000平方メートルのエリアに建てられた歴史的な大邸宅は、庭園と一緒に自然な外観をしています。女性と男性だけでなく、トルコ風呂と大きな庭に別々に2つの大邸宅があります。







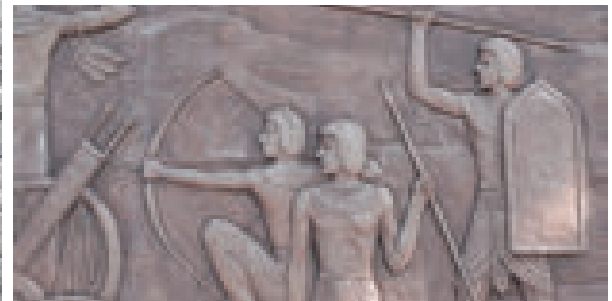
地元の手工芸家

町の中心部に建てられたこの建物は、忘れられた歴史的な建物の風格に適した建築様式で建てられました。地元の手工芸品のコースは、私たちの街に住む女性のために職業を教えるために編成されています。公的訓練センターを訪れ、生産に個人的に参加し、作品を購入することで、製作過程を観察することができます。館内のカフェでは、郷土料理とトルココーヒーを提供しています。同時に、芸術活動のために使用されるセンターでの時折の展覧会があります。

ボガーズコイの中心部には自然な外見があり、小規模で魅力的なお店、狭い通り、コーヒーハウス、オープンオープンを使用したパン屋、ブティックホテル、保護区域で壊滅しようとする家々など、

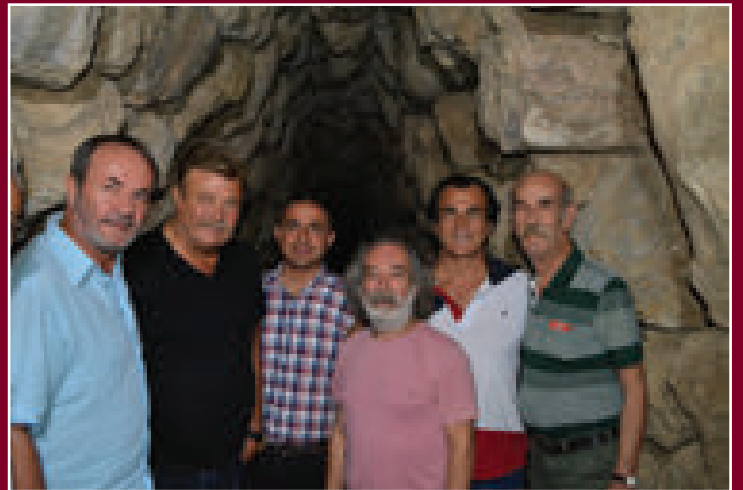
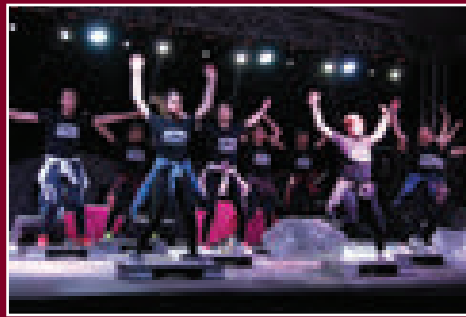
さらに、市内中心部のヒッターイト記念碑は街のシンボルの1つであり、ヒッターイトの救援物であるヒッターイトの文字と記号は、この場所がヒッターイトの都市であると強く示しています。

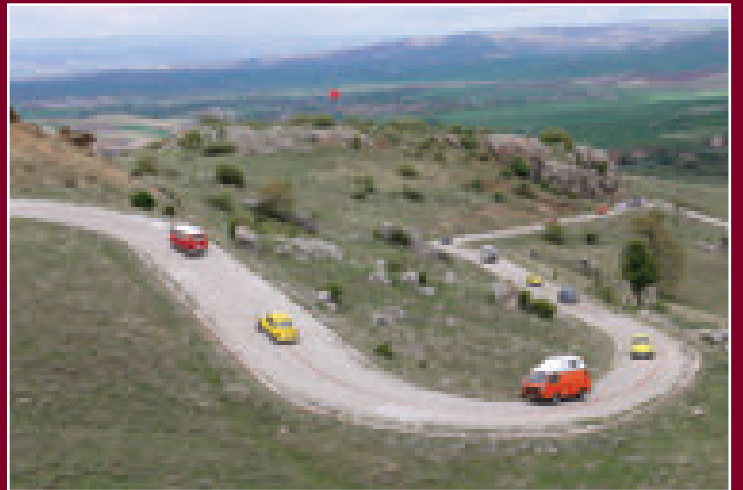




シティ・モニュメント

入り口に位置し、「平和の碑カデシュ」ハッタサ、平和の町、カデシュ平和を参照してボアズキョイ庁舎によって建てられました。平和市のハッタサに来る訪問者は、最初に平和記念碑と出会う。ハッタサに行く間に町の中心にある記念碑には、ハッタサとヤジリカヤの様々な人物が描かれています。

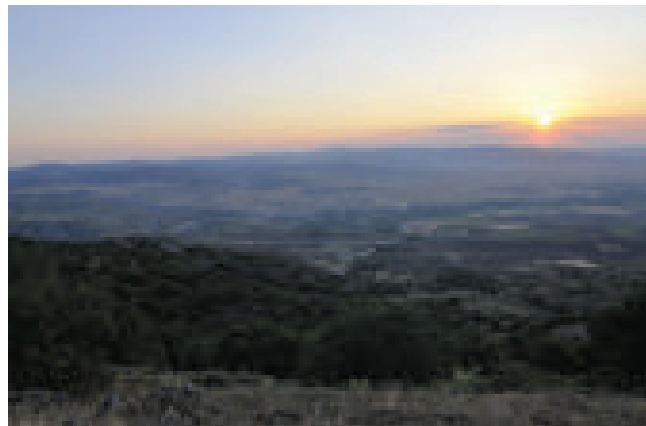






イブカム・ポンドとレクリエーション 区域

イビカム池とレクリエーションエリア、日本庭園は市内中心部から4kmです。オーク材の森と池には、魅力的な自然の美しさがあります。庭で日本の魚を見たり、ユニークな自然散策やピクニックを楽しむことができます。子供たちを安全に遊び場に放置し、揺れやベンチに座って、池を見ながらその日のすべての疲れとストレスを残すことができます。同時に、ヒッタイトウォーキングトラックがのルートを使用します自然愛好家のための領域をキャンプされている「ハッタサ - 池 - ジャムピナル - イビカム - ヤジルバレー」。



夕日の夕日

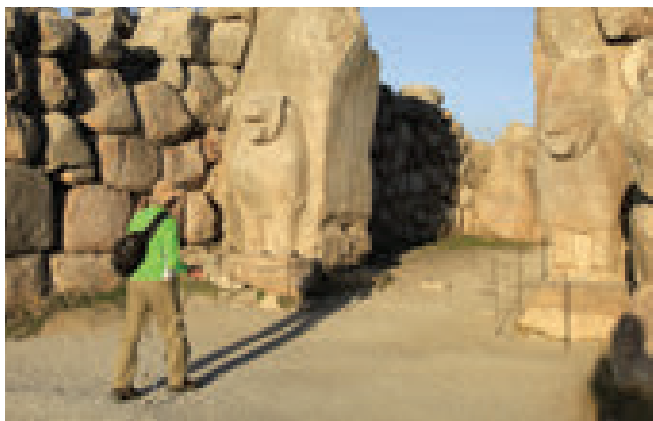
眺めと夕日を鑑賞ハッタサユルドウズヒルからプレーン広がるとともに、それはヤジリカヤオープンエアの寺院が配置されている山の頂上の点で、その日のすべてのストレスを取ります。毎日の最後の歌を歌う赤と黒の鳥のすべての色調で、ユニークな日没のハッタサと山々を楽しむことができます。ヒッタイト・キングスがこの丘から日没を見ていたことは噂されています...





ヒタイト・ウォーキング・トラック

それは、ヒタイトの都市をつなぐ道です。385kmのハイキングコースと406kmの自転車トラックがハッタサ - アラカホイユ - シャピヌワ間の代替ルートと一緒に利用できます。歴史と自然が両立している神秘的な旅は、テーマの特徴が支配的なヒタイトの道に沿って自然愛好家を待っています。コースの最も印象的な部分は間違いなくボガスクレの町の境界です。「ハットウシヤ - カヤリボガズキャニオン - イビカム池 - ジャムピナル森 - イビカム郡 - ヤジルバレー - ヤジル村 - ボアズキョタウンセンター - ヤジリカヤ - ユルドウズヒル - ホークヴィンヤーズは、」冒険の愛好家約40キロによる最も好ましいトラックです。



ヒティティウォール

ハッタサ遺跡のエントリでは、ハッタサ城壁は、オリジナルと最も印象的な構造の一つとして復元されククルハーマンの場所にあります。さらに、ククルハーマンの場所は、重要な組織が行われ、キャラバンとテントが確立されている自然なキャンプ場です。



シベレ;繁殖力のフリジアの女神



Çiğdem Pilavı

地方の味

ローカル料理スプリング、ヒマワリ、イネ、シイタケ、ガチョウ米、keshkek（皿またはマトンまたはニワトリおよび粗粉碎小麦）、CATALのASI（カトラリー食品）、ラビオリ、TESTIカバブ、ブドウに成長し、madimakと独自の特性を有しています糖蜜、ナチュラルローズヒップ、アラビシスープ、スープで食べた特別な生地は、体験する価値のある味の中にあります。さらに、町に到着する観光客は、注文時に一部のレストランで調理された実験的なヒット料理から味を味わうことができます。





ハッタサの歴史

ハッタサは1834年にフランスの旅行者で考古学者Charles Texierによって発見されました。Charles Texierはボガーズコイに10日間滞在し、遺跡や都市計画の測定を行いました。この間、彼はYazilikayaの救済に感銘を受けます。ボガーズコイの遺物に感銘を受け、彼は世界中のボガーズコイの名前を発表します。

アナトリアとシリアで同様の救済措置を見つけた後、科学者はボガスクイに向かいます。1893年から1894年まで、Ernest Chantreは最初の発掘を開始しました。これらの掘削中に初めて楔形針状の錠剤が発見された。

ボガーズコイの楔形文字の錠剤は、アッシリアの専門家Hugo Wincklerの注目を集めました。Theodor Makridiと一緒に彼らは1905年に発見旅行を行い、その後1906年に発掘を開始しました。アッシリアの専門家、ヒューゴ・ウインクラーは、その場所はヒッタイトの歴史について光を発し始めたヒッタイトの首都ハッタサであると読んでいます。



1911年～1912年にかけて第1次世界大戦中に掘削が続けられたが、後の発掘は独立戦争によって中止された。

第一次世界大戦後、1931年にドイツのクルト・ビットテルの指揮の下、新たな発掘期間が始まりました。

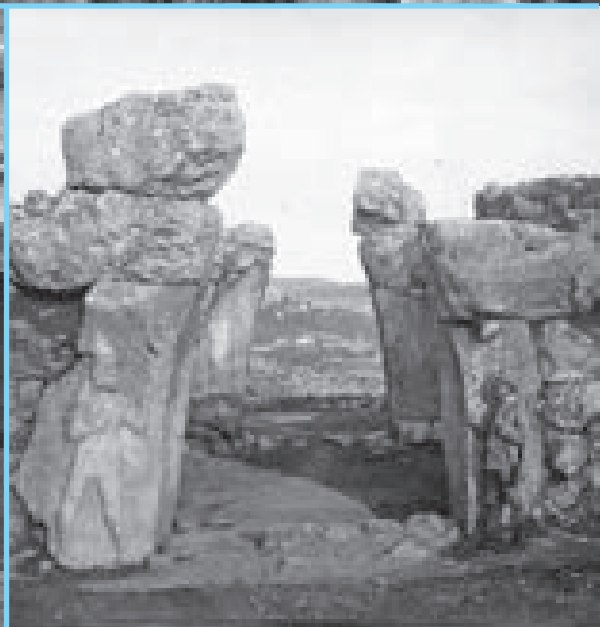
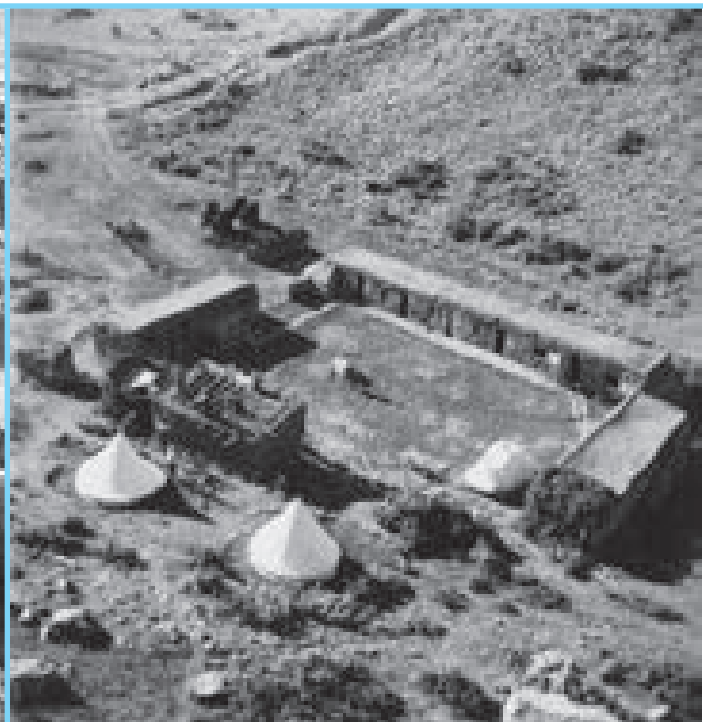
1931年から1939年にかけて、第二次世界大戦の発生後、クルト・ビットテルの発掘は一時停止され、1952年に再開された。

1978年から1993年の間に、ピーター・ネーヴの発掘調査がアッパー・シティで行われました。ハッタサは神や寺院の首都でもあったことが寺院から分かる。






















1994年から2005年まで、ユルゲン・シーサーは発掘調査を行った。2006年に始まったAndreas Schachnerの指示に基づく発掘は今日も続いています。

1986年にハッタサはユネスコの世界文化遺産リストに登録されました。1988年に、ボガーズコイ-Alacahoyukは「国立公園」と宣言されました。

























重要な象形文字の意味

	“神”			“山” “聖なる山”
	“偉大な”			“川”
	“王様”			“場所”
	“偉大な王”			“空”
	“偉大な女王”			“嵐の神”
	“王の息子、王子”			“空の嵐の神”
	“都市”			“太陽”
	“国”			“太陽の神”
	“ヒーロー”			“男性” (“ziti” と発音される)
	“城”			“女、女性”

重要な象形文字の意味

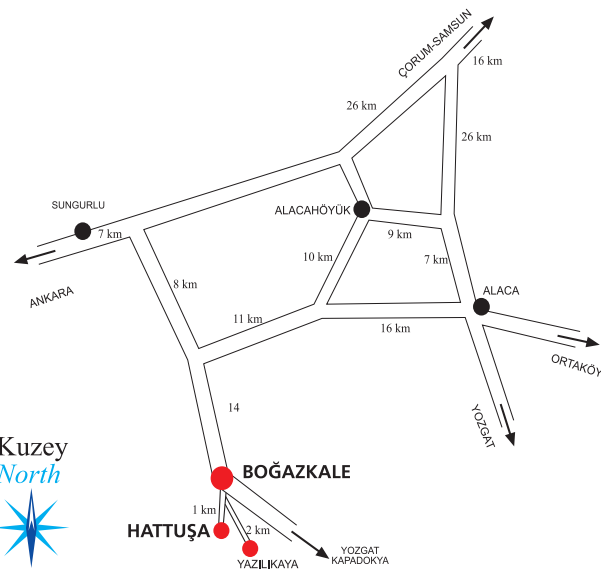
	“子供、息子”		ツタリヤ
	“娘、女の子”		シュピルーリウム
	“愛、愛する人”		ムルシリ
	“紛争”		ムワタリ
	“賛成”		ハッシュシリ
	“ブドウ畑、グレープワイン、ワイン”		アーリーテイシップ (第2回ムルシリ)
	“私”		マルニガラル
	“書記官、タブレット”		ダヌエパ
	“運転手”		プウデヘパ
	生活		アルヌワンダ



ULAŞIM / Transportation



Boğazkale - Alaca Höyük	35 km
Boğazkale - Çorum	87 km
Boğazkale - Ankara	203 km
Boğazkale - Yozgat	45 km
Boğazkale - Kapadokya	210 km
Boğazkale - Samsun	254 km



連絡先

ボガーズコイ

ボガーズコイ / チョルム / トルコ

電話: 0 364 452 20 01 ・ファックス: 0 364 452 21 23

電子メール: bogazkale@icisleri.gov.tr ・ウェブサイト: www.bogazkale.gov.tr